

## 平成27年 第9回帯広市教育委員会会議録

1. 平成27年4月20日月曜日 16時30分～17時30分  
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名について
- 日程第 2 議案第 32 号 帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正について
- 日程第 3 議案第 33 号 帯広市奨学生選考委員の委嘱について
- 日程第 4 報告第 7 号 臨時代理事項の報告について
- 日程第 5 その他 (1) 帯広市議会3月定例会の報告について
- その他 (2) 確かな学力の向上・定着に向けて
- その他 (3) いじめのない学校づくりに向けて
- その他 (4) 体力運動能力テストの実施に係る考え方について
- その他 (5) 今後の事業予定について
- その他 (6) 寄附受納について
- その他

田中委員長

これから、平成27年第9回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(福原課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、市之川委員及び伊藤委員を指名いたします。

日程第2、議案第32号、帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

嶋崎 部長

議案第32号、帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正についてご説明いたします。本件は平成27年4月1日付人事異動に伴い、職名変更などがありましたことから、別表1及び別表2について、議案2ページの新旧対照表のとおり改めるため、規程の一部を改正しようとするものであります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

各 委 員

ありません。

田中委員長

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第32号、帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第32号は決定されました。

日程第3、議案第33号、帯広市奨学生選考委員の委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

嶋崎 部長

議案第33号、帯広市奨学生選考委員の委嘱についてご説明いたします。本案は帯広市奨学条例第9条の規程に基づき、選考委員を委嘱しようとするものであります。まず、選考委員につきましては、同条例施行規則第6条の規程により、学識経験者、民生委員及び校長から委嘱することとなっております。また、委嘱人数につきましては、学識経験者4名、民生委員3名、校長3名の10名となっており、うち新任は校長1名及び学識経験者1名で、外8名は再任となっております。委員として、保前明美氏、勝部正志氏、米原良信氏、中田和子氏、前田弘文氏、橋枝徳春氏、齊藤雅俊氏、橋本達也氏、高橋雅人氏、笹木卓三氏の10名を委嘱しようとするものであります。委嘱期間につきましては、平成27年5月1日から平成29年4月30日まででございます。以上よろしくご審議賜りま

すようお願い申し上げます。

田中委員長  
門屋 委員

これから質疑に入ります。

中札内の高橋雅人氏は、どういったことで選ばれているのでしょうか。

村木 課長

高橋雅人氏につきましては、北海道私学協会帯広支部から選出されておりました。現在、北高の校長をされております。

門屋 委員  
田中委員長

分かりました。

他になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第33号、帯広市奨学生選考委員の委嘱については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員  
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第33号は決定されました。

日程第4、報告第7号、臨時代理事項の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

神田 部長

報告第7号、臨時代理事項の報告について、臨時代理第1号から第4号まで一括してご説明申し上げます。議案書7ページから9ページでございます。はじめに7ページをご覧ください。本報告は帯広市社会教育委員の解職及び委嘱について、帯広市教育員会事務委任等規則第4条の規定に基づき、事務を臨時に代理したので、これを報告するものでございます。臨時代理第1号につきましては、これまで委員を委嘱しておりました山田義弘委員より平成27年4月2日付で委員を辞任したい旨の申し出がありましたことから、同日付で解職したものでございます。次に8ページをご覧ください。臨時代理第2号につきましては、先に解職した委員の後任として、我妻公裕氏を平成27年4月3日付で委嘱したものでございます。なお、委嘱期間につきましては、帯広市社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例第3条の規定に基づき、平成27年4月3日から前任者の残任期間であります平成27年7月31日までであります。次に臨時代理第3号につきましては、これまで委員を委嘱しておりました渡辺弘年委員より平成27年4月8日付で委員を辞任したい旨の申し出がありましたことから、同日付で解職したものでございます。次に9ページをご覧ください。臨時代理第4号につきましては、先に解職した委員の後任として、辻敦郎氏を委嘱したものであります。なお、委嘱期間につきましては、帯広市社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例第3条の規定に基づき、平成27年4月9日から前任者の残任期間であります平成27年7月31日までであります。説明は以上であります。

田中委員長

これから質疑に入ります。

各 委 員  
田中委員長

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第5、その他に入ります。

その他（1）帯広市議会3月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬調整監

議案書11ページから13ページでございます。第1回帯広市議会におけます、教育委員会に関する質疑のうち、私の方から学校教育部に係わります質疑の概要についてご報告させていただきます。今回、代表質問6名中1名、一般質問15名中8名、議案審査特別委員会11名中2名、予算審査特別委員会12名中8名の議員からご質問がございました。最初に代表質問でございますが、民主市民連合、北口議員から、義務教育国庫負担制度の維持と負担率について、今後も北海道都市教育委員会連絡協議会を通じて要望すること、中学校と高等学校の連携では、学びや育ちをつなげていくためにも、中高の連携も見据えながら、中学校校長会と連携を図っていく旨、新たな学校給食センターでの地元食材の導入では、地元産食材の導入などについて庁内関係部とも連携しながら積極的に進めること、また、H27年度から帯広産小麦100%のパン、ラーメン、うどんの提供が可能となった旨を答弁しております。続きまして、一般質問、村田議員につきましては、第二中学校と緑園中学校の適正配置の説明会の参加人数や主な意見など、今後において実施計画原案を含め課題の分析など行い、文部科学省の手引きも参酌しながら検討作業を進める旨を答弁しております。次に、中村議員につきましては、道徳教育・命の教育は、今後も帯広ならではの教材開発や資料の作成に努め、実態に即した教育を進めていく旨を、また、学校司書につきましては、国の動向を注視し検討することなど、また、教育課程の実態に基づき、認知症理解を含めた高齢者理解の取組みを進める旨を答弁しております。大塚議員につきましては、子どもの安全安心について、命の大切さなど道徳を中心とした学校教育活動全体の中で指導すること、各校の危機管理マニュアルについて、統一的な対応が図られるよう市教委の手引書の改訂など、危機管理体制や安全確保の取組みの充実に努める旨の答弁をさせていただきます。次に、藤澤議員につきましては、がんの予防や早期発見などに関する健康教育は、北海道において、がん教育の手法について検討を行うこととなっており、こうした動向を見定めながら情報収集を行い、先進的ながん教育の資料などを学校へ周知し、学校保健会などとも協議し、教職員や保護者への啓発に努める旨を答弁しております。杉野議員につきましては、いじめ防止法を受け、いじめ防止基本方針を全ての学校で策定しておりますけれども、北海道のアンケートと

帯広市独自のアンケートを行い、子どものサインをキャッチすることに努めているほか、いじめ防止非行サミットで様々な取り組みを行っていること、また、35人学級につきましては、少人数の学級について、北海道都市教育委員会連絡協議会を通じて要望するとともに、指導方法の工夫改善や定数加配を有効に活用する少人数指導を行うなどの答弁をしております。次に、佐々木とし子議員につきましては、学習指導要領に基づきながら公民や家庭科において、個人の尊厳と両性の本質的平等について、男女が対等なパートナーとして子育てや介護に関わることの大切さを学んでいる旨の答弁をしております。次に、高田議員につきましては、余裕教室の利活用の状況と公共施設マネジメントなどと整合を図りながら、教育環境を損なわない範囲でリノベーションなどの協議検討を行うこと、特別支援教育については学級の設置や補助員、介助員の効果的な配置に努め、決め細やかな教育に努める旨の答弁をしております。次に、菊地議員につきましては、新たな学校給食の取り組みについて、4月から帯広産100%の小麦を使ったパン・麺の提供のほか、加工品につきましても、地元産調達の拡大に向けた地元業者などとの協議や新メニューや手作り感のある献立の提供や学校給食への理解や取り組みをアピールできる手法の検討、また、アレルギー対応の手続きや庁内関係課とも連携し、管理指導表の提出を促す旨を答弁しております。議案審査特別委員会、予算審査特別委員会につきましては記載のとおりでございます。以上でございます。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部に係わります質疑の概要についてご報告させていただきます。今回、代表質問6名中1名、一般質問15名中1名、予算審査特別委員会12名中5名の議員から質問がございました。はじめに代表質問、北口議員の質問中、図書館における戦後70年に係わる取り組みにつきましては、戦争に係わる所蔵図書や資料を中心に特集展示を行う旨を答弁してございます。次に、一般質問、熊木議員の質問中、文化振興条例に対する考え方につきましては、市民が行う芸術・文化活動の自主性を尊重し守り育み、文化振興を推進する旨を答弁してございます。予算審査特別委員会につきましては記載のとおりでございます。以上でございます。

田中委員長  
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

聞き漏らしたかもしれませんが、生涯学習部の説明の中で、戦後70年にあたるとの話がありました。各学校で関連する書物を一定期間まとめて子どもたちに知らせるといえることでしょうか。

葛西調整監

北口議員のご質問の趣旨は、帯広市図書館において特徴的な催しをやるべきではないかというご質問で、図書館において展示コーナーを設け特集する旨のお答えをしております。学校ということではございませんでした。

伊藤 委員  
市之川委員

分かりました。

いよいよ新学校給食センターによる給食が始まりましたけれど、数名の議員の方から地元産の食材をとという質問もあるようですけれども、それに向けて大変な努力をされていると思います。まだ要望はあるのでしょうか。

堀田センター長

3月定例会におきましては、特に帯広産の小麦100%のパンや麺の提供ができるようにとご報告させていただいております。また、今回、新調理場になりましたので、泥付の野菜でも処理しやすくなるなどの施設整備ができましたので、できるだけ地元の農業を営んでいる方々の協力や支援をいただきながら、さらに地元の食材を活用できるようにというご要望もございました。私どもといたしましては、大きな団体、小さな団体がございまして、いろいろと協力しながら進めてまいりたいとお答えさせていただいております。

門屋 委員

直接関係ないことで申しわけありませんが、この機会に聞かせていただきたいと思っております。長期入院している子どもの院内学級のないところがあると思っておりますが、訪問教育というようなことは行っているのかどうか教えてください。

村松企画監

長期欠席児童生徒の中で病気によって休んでいる子どもたちに関して、学校での訪問というお話だと思っておりますけれど、学校の中では学年の先生や担任の先生が定期的に学校のプリント類や学級だより等を持って、入院している子どもたちの面接も含めて訪問しています。その際に進路や友達のノートの一部をコピーし、渡すなどの学習支援を行っております。子どもの病状にもよりますが、配慮をさせていただいております。院内学級につきましては、現在、厚生病院で開設しておりますけれど、それ以外の学校で長期に休んでいる子どもに対しては、各学校の取組みはそのような形で行われてございます。

門屋 委員

学科の教育をすることは実際にはないと考えていいですか。

村松企画監

例えば、小学校45分、中学校50分の授業を病室で行うのは難しいものがございます。その病室のお子さんの数や病状にもよりますが、先生方の時間的な制約というのも正直なところあります。院内学級については、加配の教員が配置され、指導にあたるわけですので、それ以外については担任の放課後の時間等を利用しての活動といったことが多くなります。

門屋 委員

分かりました。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)確かな学力の向上・定着に向けて外2件を一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

橋場 部長

その他(2)確かな学力の向上・定着に向けて、(3)いじめのない

学校づくりに向けて、(4) 体力運動能力テストの実施に係る考え方について一括してご説明させていただきます。議案書15ページをご覧くださいと思います。それぞれ、例年のように今年度も4月の年度はじめの校長会議及び教頭会議におきまして、基本的な考え方についてお示しし、先週中まで学校からの意見を募集したところですが、特に質問・意見がございましたので、ここでは、特に今年度新たに加わった視点や昨年度と変更のある部分を中心に説明させていただきます。はじめに、確かな学力の向上定着に向けてについてであります。理念の共有、今年度の方策の柱、教育委員会の取組、学校に期待することの4つの項目につきましては変更ございません。昨年度から、結果の公表につきましては帯広市全体の数値を公表するなど、大きく変更いたしましたので、今年度の方策の柱に、帯広市独自の方策・結果公表の充実という内容を加えております。16ページですが、教育委員会の取組におきまして、学力向上推進班の取組として、新たに学級経営ワンポイント講座を追加するとともに、新規クラウドサーバーの設置により、これまで以上に充実が期待される教育研究所による独自教材の作成・配付という項目を改めて明記いたしました。また、文字を丁寧に書く指導や読書指導、目標冊数を意識したノート指導など、今年度も引き続き、日常的な指導の充実を図ってまいります。次に17ページ、いじめのない学校づくりに向けてについてであります。いじめの定義、理念・認識の共有、今年度の方策の柱、教育委員会の取組、学校に期待することの5つの項目は変更ございません。大きな変更点といたしましては、教育委員会の取組の中の1つ目に、帯広市いじめ防止基本方針の策定という項目を明記し、今後、市長部局など関係部署と基本方針の策定に向けて取り組むこと、また、そのことと関連して、関係機関との連携の強化という項目を追加しております。最後に21ページ、体力運動能力テストの実施に係る考え方についてであります。今年度も全国調査に参加する小学校5年生、中学校2年生を除くすべての学年において、帯広市独自に体力運動能力テストを実施し、児童一人一人の記録の経年変化を把握しながら授業改善を進めることなど、改めて学校にお示ししたところがあります。なお、発達段階を考慮して小学校1年生から3年生までは必修種目を指定しております。以上、こうした基本的な考え方を根拠としまして、1年間通して各学校の支援に努めてまいります。また、これらは帯広市のホームページに掲載し、広く市民や保護者等にも公表、発信してまいります。報告は以上でございます。

これから質疑に入ります。

1つは16ページの教育委員会の取組のところ、学力向上キャンペーン、みんなで5点ずつアップというのは、具体的にどうい

田中委員長  
伊藤 委員

活動になのか教えてください。それから、同じく教育委員会の取組には書かれてはおりませんが、適切な学力アップということで、全国的に様々な取組みがなされていると思います。帯広市としても、プロジェクトを設置して努力しているとお聞きしています。北海道の指定を受け、大樹小学校で学校力アップということで、先生方への指導力アップ、地域の方の啓蒙など、学校力アップを3年間されて成果も上がっているものと思います。帯広市としても、北海道の制度が継続しているなら、ぜひ、手を挙げて指定を受けて、先生、保護者や地域の方々への起爆剤として利用できたらどうかと思いますので、考えをお伺いしたいと思います。もう1つは、いじめの部分ですけれど、19ページの学校に期待することの中で、家庭・地域との連携について、いじめに係わっては、非常に重要なセクションではないかと思います。昨今、ネットによる様々な問題行動が市内でもあるのだらうと思います。学校においても、ネットに係わる指導はされていると思いますし、保護者へも啓蒙されているのだらうと思いますが、より綿密な連携をする必要があるのではないかと思います。市教委としては、その対策について、今までの流れに基づき、新たな計画等があればお知らせいただきたいと思います。

村松企画監

私から、みんなで5点ずつアップの学力の部分と、いじめの関係についてお答えいたします。まず、学力向上キャンペーンのみんなで5点ずつアップの合言葉につきましては、学力テストが全国的に周知されている中で、平均点とか大きな点数を中心にしながら論議されることが多いわけですけれども、学力というのは一人一人の子どもたちによって自分の学力向上に向けた取組みを図っていくことが大切です。それぞれの子どもたちが自分の現在の学力よりも1つ上を目指そうということで、5点アップという合言葉で進めております。50点の子どもは55点、60点の子どもは65点、100点の子どもは105点の気持ちで、それぞれの子どもの目標を5点アップという言葉で表わしながら行っております。年間継続的に校長会や教頭会等で、これを合言葉にして、子どもたち一人一人の学力向上に向けた取組みをお願いするとともに、これは子どもたちへの励ましの取組みと考えておりますので、保護者啓発も今後図っていきたいと考えております。学校においても、この合言葉を基にして、日常的な学力向上、家庭習慣の部分と連携した投げかけを、4月から早速、学校便りで投げかけている学校も見られます。それから、ネットのいじめの関係で家庭との連携の部分ですけれども、お話がありましたように、いじめの問題に関しては、学校だけではなかなか解決するのは難しく、家庭や地域との連携が必要となってまいります。最近、特に見えにくく潜在化している問題の中に、ネットのいじめがあるのも私どもも承知しており、学校においても、十



分に注意しながら家庭と連携を図っていただいております。実際に家庭はどのようなことをすればいいのか、どういうことが効果的なのかということも含めて、学校のアドバイスを求めることもありますので、学校との連携の中では、学校から家庭へ具体的な家庭での生活の取組み、また、ルールづくりを含めたお話をすること多くあります。教育委員会としても、家庭との連携が大事だということで、昨年度から市P連の協力を得ながら、市P連の研究大会の中で教育委員会職員が実際の家庭でのルールづくりの講座などを行っております。今後も市P連との連携をしっかりとっていき、各単Pに取組みを下ろして、子どもたちの健全育成に努めてまいりたいと考えております。以上です。

橋場 部長

私からも学力向上キャンペーンについて少し補足させていただきます。企画監からも説明させていただきましたけれども、5点という点数につきましては、全国学力学習状況調査が始まった当初、帯広市の子どもたちと全国の比較をする中で目指すべき点数として妥当なところで5点という数字を上げております。全国学力学習状況調査だけではなくて、点数主義に走るという意味でもなくて、目の前の子どもの点数を5点上げてあげることが、授業でもそうですけれども、より教育相談機能や生徒指導機能とか、子どもとのコミュニケーションがなければ難しいということを強調しております。先ほど企画監が100点の子には105点の気持ちでとお話しましたが、例えば、100点の子の答案の字が上手に書けていれば、そこにも目を向けて、字がとても上手だから105点というような、子どもとのコミュニケーションを大事にしていこうという意味で、キャンペーンを立ち上げているところでもあります。それから、学校力向上の取組みでございますが、帯広市ではこれまで絆を育む学校づくり支援事業など、保護者や地域と連携した教育に取り組む中で、各学校が伝統や良さを生かした特色ある学校づくりを進めてきております。学力向上やいじめ問題の解決など、全校一斉にすべての学校で取り組むべき教育課題も多いわけですが、地域とともにある学校づくりという帯広市のこれまでの取組みをより充実させるために、今後も学校が各地域のブランドマークとなるような、学校の実態に応じた支援に努めていきたいと考えております。今、お話にありました北海道教育委員会が進める学校力向上の取組みにつきましては、今後、校長会等とも協議をしながら前向きに検討してまいりたいと考えております。以上です。

伊藤 委員  
市之川委員

ありがとうございました。

私も学力向上のところで、回答の文字の書き方や名前の丁寧さはどのように学力向上に係わっているのかと聞いていたところですので、今の説明で納得しました。子どもたちが上手に丁寧に書けたと

いうところを評価すると、子どもたちも自信がついて、コミュニケーションのために必要だという考え方はいいと思います。北海道教育委員会が進める学力向上策に基づいて帯広市の取組みも作られているのだと思いますけれど、道教委が進める学力向上策はすべて網羅されているのか、他にも向上策はあるのでしょうか。それから、学校に期待することの中で、日常的な校内研修の充実とありますけれど、先生は学校の授業以外にもお忙しいと思いますが、できれば、もう少し研修に参加していただけたらと思います。

村松企画監

学力向上策について、ここには大きな部分について掲載させていただきました。個々の部分につきましては、様々なプロジェクトが存在しておりまして、例えば、大きな指導力向上の部分では、帯広市が昨年から取り組んでいる巡回指導教員活用事業、これも北海道教育委員会の事業を活用して行っております。1人のスーパーティーチャーが他の3校程度の学校を回りながら、先生の指導力向上に向けたT・Tの取組みをするものもございます。典型的なものとして、今年度から始まった道教委の取組みで、全道で4ヵ所程度指定され、帯広でも指定されているわけですが、学力向上推進チーム事業というものがございます。今の巡回指導教員活用事業と似ておりますけれど、巡回指導の場合は1人の先生が何校か回るものですが、学力向上推進チーム事業というのは、3人のスーパーティーチャーが3人チームとして、1つの学校にT・Tの授業をするために行き、すべての学級でT・Tを1週間単位で行うという事業が新たに進んでおります。これも先ほどの説明も、先生方の指導力向上に向けた取組みを通して学力向上を図っていくというものでございます。このような形で細かい部分においては、ここに十分に記載されていないものもございます。先生方の研修の部分につきましては、学校の校内研修を中心にしながらも、実際に外に出て様々な研修を受けるように、帯広市教育研究所や十勝教育研修センターの研修など、様々な機会を捉え、指導力、実践力、教師の資質の向上に努めてまいります。以上です。

市之川委員  
門屋 委員

分かりました。

いろいろと取組みの目標がたくさんあるのはよろしいと思いますが、私は学力に偏重し過ぎてはいないかと思うことがありまして、学力を付けるための教育力が高まるために、今のお話のようなチームを作って指導を受けることについては、すごく注目するわけですが、どうしても学力というのは、比較できるような一定の基準を作るわけで、全体で上がったかどうか注目し過ぎていて、先ほど個別性を重視するということを言っていたので心配はしていませんけれども、個別性を重視することに教育の最も重要なことがあると思っています。基礎・基本の定着ということで、基本

も重視していますから、そんなに心配はしていませんが、学力という文字だけが大変頻繁に出てくるので、私自身少し心配しているところもあるということだけ申し上げておきたいという意見です。

田中委員長

私からも1点だけ、先ほど話題になっていたネットのいじめについてですけど、段々分からなくなってくるネット環境の状況があると思います。率直に言って、学校の先生だけでは対応しきれないスピードのネット状況があつて、先生と児童・生徒とのレベル差がかなり出てきてしまうと思います。昔は掲示板レベルでのいじめだったのが、今はLINEにタイムラインが載ってとか、言っている私もよく分からないところがあります。そうなった時に学校サイドはどうやって対応したらいいのか、結局、いちごっこで仕方ありませんが、追っかけるしかないと個人的には思います。先生方の研修ということと、子どもたちに対して、事の良し悪しを徹底的にやらなければだめではないかと思えます。いじめを含めたネット問題についても、子どもたち自身に考えさせるような取組みをすとか、先生方も徹底的に研修をしていかないと、何か問題が起きるのではないかという気がして仕方ありません。どういう形がいいかまだ分かりませんが、ネットの様々なトラブルについては、先に行けるような状態を作っていた方がいいと思っていますので、まず、先生方の勉強、若い先生はいいのですけれど、中高年になると全く分からなくなるので、ぜひ対応をお願いしたいと思います。私の意見ですので、回答はなくても構いません。

橋場 部長

今、貴重なご意見をいただきました。知・徳・体のバランスについてずっと言ってまいりましたけれど、とても大事なことだと認識しています。学力や心、体についても、子どもたちが将来豊かな自立した社会生活を営むための基盤になるという基本的な認識にもう一度立ち返ろうということで、このところ学力や体力ということをおもいは言い続けてまいりました。学力だけが良ければいいということではなくて、知・徳・体、ある時はこっちに引っ張られ、こっちに引っ張られと、バランスが崩れることもあるかもしれませんけれど、最終的にはバランスの取れた子どもたちを育てていくことが大事だということをおもいながら取組みを進めていきたいと考えております。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（5）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬調整監

教育研究所の5月の事業予定についてご説明いたします。議案書23ページでございます。1つ目は、5月8日15時30分から、帯教研事務局会議ということで、今年度の事業計画、全体交流及び研修会を行います。2つ目は、5月15日14時から、保健福祉セ

ンターにて校内研究推進協議会、校内研修の充実に向けた各校の取り組みや今日的な課題について交流協議をするものでございます。以上です。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部に係ります事業予定でございます。文化課の2点につきましては、お手元に資料を配付させていただいております。おびひろ市民芸術祭につきましては、4月30日から約1ヵ月間、市内3会場で開催予定でございます。また、帯広交響楽団第37回定期演奏会につきましては、5月16日19時から、市民文化ホールで開催いたします。次に図書館でございます。23ページから24ページの上から4つ目までは、こどもの読書週間関連事業となっております。次に25ページ、芥川賞他各賞を受賞している作家の町田康氏の朗読&トーク、十勝毎日新聞社と共催事業で5月23日に予定しております。図書館は5月の月末から6月上旬まで特別整理期間のため休館となります。この期間は、本は15冊、CD・DVDは5点まで、3週間の利用拡大となります。次に百年記念館は、博物館講座、発見、十勝沖の海鳥たちとして、日本野鳥の会十勝支部の千嶋淳氏を講師にお招きし、5月16日に開催いたします。次に博物館講座のぶらり帯広、5月24日に学芸員が市内の自然や歴史等を解説しながら散策するものでございます。最後に動物園からは、大人、子どもそれぞれ飼育係の体験イベントを予定しております。以上です。

田中委員長  
各委員  
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(6)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

堀田センター長

議案書27ページでございます。学校給食センターの寄附についてご説明いたします。帯広市内、トータルフーズ株式会社代表取締役社長、香川俊雄様より、3月27日に学校給食施設の充実のために役立てていただきたい旨の趣旨により、防鳥ネット150万円相当のご寄附をいただきました。

増子 課長

文化課の寄附についてご説明いたします。帯広市内、大丸藤井株式会社道東支店支店長、南波誠一様より、4月1日付で帯広市民文化ホール舞台照明類機器一式、1万7,820円相当を帯広市民文化ホールの安定的運営のためにご寄附いただきました。平成17年から27年まで賃貸借を行っていた物件が終了したものでございます。次に市内在住者の方から4月1日にインクジェットプリンター一式、1,080円相当を帯広市民ギャラリーの安定的運営のためにご寄附いただきました。

葛西調整監

図書館の寄附についてご説明いたします。帯広市内、東和工研株

式会社代表取締役、田中雅人様より、3月25日に現金20万円を図書資料充実のためにご寄附をいただきました。同社からは帯広市への寄附は7回目、総額540万円、図書館への寄附は3回目、総額140万円でございます。次に帯広市内、国際ソロプチミスト帯広会長、宇佐美幸代様より、4月12日に、児童書28冊、大型絵本用書架2台、10万円相当、児童図書等の充実のためとしてご寄附をいただきました。同会からは7回目となり総額70万円相当となります。続きまして、百年記念館からは、帯広市内、〇〇〇〇様より、3月31日に写真、帯広建設工業共同組合による聖徳太子講のようす6点を博物館資料として活用してほしいという趣旨でご寄附いただきました。以上です。

高橋 園長

動物園から寄附2件ご説明いたします。1件目、3月11日に市外在住者の方から動物園の飼育環境充実のために現金30万円のご寄附がございました。2件目、3月13日に鎌倉市在住の〇〇〇〇様より、動物園運営のために3万円のご寄附がございました。いずれも寄附者の意向を踏まえまして、飼育環境の改善のため、動物舎の補修財源として活用したいと考えております。以上です。

田中委員長  
各 委 員  
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事 務 局  
田中委員長

ございません。

事務局からの説明は以上であります。この際各委員から他にご意見、ご質問等があればお受けいたします。

伊藤 委員

本日、帯広小学校で給食センターからの給食を子どもたちと一緒にいただくことができました。ここまでに至るには関係者の大変な努力に感謝すると同時に、子どもたちの笑顔が非常に素敵で、期待している顔だったと思います。食育指導員の巧みな指導と指導内容が非常に効果的であったと思います。年間様々な形でなされると思いますので期待もしております。そこで気がついたことなのですが、今日、学校の食器等を置くテーブルが3つに分かれておりました。もし、子どもが境目に引っかかるなどして落ちる可能性もあり、大きな事故になり兼ねないと思って見ておりました。大きなテーブルの方が安全面、作業面でもいいと思います。かなりのお金がかかるので、全校一斉には無理かもしれませんが、順番にでも設置できないかと思いました。それについて、ご意見が何かあればお願いします。

嶋崎 部長

伊藤委員のおっしゃるとおり、今回、食器も増えましたし、1品増えたことで、学校現場ともその部分について協議させていただいております。ただ、専用の配膳台を作り、各教室となると相当経費

もかかります。1つは、校務員等が自前でテーブルを作りやっていると、予算執行の中で前年度分の備品等の部分で手配させていただいており、全部には行き渡っていませんけれど、対応させていただいてございます。

伊藤 委員  
田中委員長

分かりました。

今のところは気をつけていただきたいと思います。

他になれば、本日予定されておりました案件は、すべて終了しました。

以上で平成27年第9回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。